

理念：ひと『未来を創る人が育つまち』

天草の未来像を描くのは私たちという気持ちをもち、ともに手をたずさえ、ともに行動し、地域のつながりを深め、私たち一人ひとりが役割を持って活躍するまちを目指します。また、多様な文化を感じ、認め合い、私たちの誰もが感謝の気持ちをもち、天草に愛と誇りを持つまちを目指します。

『地域の個性や特色を活かした活発な地域づくり活動が行われていること』

（掲げた理由）

地域コミュニティ活動に対するニーズの多様化・複雑化し、また、地域づくりを担う人材が不足しています。また、行政による画一的なサービスだけでは限界が見えはじめています。市民一人ひとりが地域の将来像や課題を共有し、地域の個性や特色など強みを生かした協働による地域づくりや地域づくりを担う人材の育成・支援を行うことで、活発な活動が展開されていきます。

『自立した市民活動が活発になり、支え合うまちになっていること』

（掲げた理由）

多様化・複雑化する地域社会の課題においては、様々な分野で多種多様な経験・知識・スキルを持つ NPO 等の市民活動団体が新たな担い手となっています。市民活動団体の運営基盤の強化を支援するとともに、個人や NPO 等が持つ経験・知識などをつなぎ、多様なネットワークの強化、新たな人材の発掘や学びの場を提供することで、市民活動が活発となり、支え合うまちがつくられていきます。

『多様性を認めあい、互いを尊重するまちになっていること』

（掲げた理由）

性別の違いをはじめ、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティなど多様なニーズや課題に対応した配慮が求められています。女性の参画拡大に向け取り組むほか、普及啓発のセミナー開催、相談体制の充実などに取り組んでいくことで、一人ひとりの意識の向上し、誰もが多様性を認めあい、互いを尊重するまちがつくられていきます。

『子どもたちの教育環境が整っていること』

（掲げた理由）

天草の未来を担う子ども達が知・徳・体をバランスよく成長させ生きる力を身に付けること、また、地域にある歴史や豊かな自然の中での体験を通じた自立した大人に育てることが望まれています。このため、魅力ある授業づくりをはじめ、幼稚園・保育園等と学校間の連携、家庭との連携、地域とが連携し、地域とともにある学校づくりを進めることで、子どもたちの教育環境を整備されていきます。

『生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができていること』

(掲げた理由)

市民の学びに対する関心や意欲は高いものの、学習への参加者は固定化という偏りがみられます。このため、ニーズに対応した講座の開催や様々な知恵や特技を持つ人材の発掘、専門的知識を持つ大学等と連携し、地域の担う人材の育成や誰もが学ぶことができるよう多様な学習機会の提供を行い、地域課題等の解決に取り組むことで、生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます。

『歴史と文化を感じ天草に誇りを持っていること』

(掲げた理由)

天草には、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産となっている「天草の崎津集落」のほか、各地域には、地域固有の祭りや伝統芸能があります。しかし、市民の歴史や文化への関心は低く、歴史や文化的価値や良さを再認識し、興味を高めていただく必要があります。本物の文化芸術に触れる機会をつくとともに、継承活動の支援や周知啓発を図り、次世代へつなぎ傳承していくことで、歴史と文化を感じ天草に誇りを持つことにつながっていきます。

理念：経済『つながり稼げるまち』

これまでにない様々な考え方を取り入れ、農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働く場所があるまちを目指します。

『一次産業が活性化し、良質な農林水産物が生産されていること』

(掲げた理由)

本市の重要な基幹産業である第一次産業では、豊かな自然の中から良質な農林水産品が生産されています。しかしながら、就業者数の減少は止まることなく、所得向上とともに魅力ある産業づくりが必要です。このため、技術取得を含めた新規就業者への支援、生産基盤の整備や労働の省力化などの環境整備による生産性の向上、ブランド化による品質の向上と価格の向上を図ることで、一次産業が活性化していきます。

『誰もが安心して働く場所があること』

(掲げた理由)

高校卒業後の若者が市外へ流出、Uターン者も少ないことから、市内事業者は人手不足となり、また、地域経済を支える生産年齢人口が減少してきています。生産性の向上や経営改善等による安定した経営支援、事業継承や新たな職種の企業誘致により安心して働く場がつくられています。

『域内経済が好循環となっていること』

(掲げた理由)

域内で生産される農林水産物や加工品などを購入すること。また、域外で生産された商品を域内の商店等で購入することにより、域内での経済が循環することになります。また天草産としての商品力を高めるとともに、生産・加工・流通・販売の各々が更につながる販売力の向上により、域外での販路拡大を図っていきます。このような取り組みに一人ひとりが取り組むことで、域内の更なる好循環をもたらしています。

『多様な地域資源を活かし市民によって魅力ある観光のまちが創られていること』

(掲げた理由)

天草には、自然や歴史・文化など多様な地域資源が点在しています。これらの資源を継続的に磨き上げながら魅力を高めることで、市民はもとより、観光客の共感が生まれてきます。これらの点在する資源を面へと広げるための誘客によって、魅力ある観光のまちづくりが取り組まれています。

理念：暮らし『やさしさと安心のまち』

未来を担う子どもたちを育み、お年寄りはいつまでも元気に暮らし、私たち一人ひとりがお互いにやさしさと思いやりの気持ちをもち、地域ぐるみで助け合い、支え合う安心して住み続けるまちを目指します。

『市民が地域で生き生きと暮らしていること』

(掲げた理由)

子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が健康で生きがいを持って、日々生き生き過ごせるまちづくり。また、地域でお互いに助け合い、支え合いながら安心して暮らせるまちづくりが大切です。自分でできることは自分で、周りの人と一緒にできることは一緒に協働しながら、ともにやさしいまちがつけられています。

『誰もがライフスタイルに応じてスポーツに関わっていること』

(掲げた理由)

スポーツや運動に親しむことは、健康づくりにつながり、また、子ども達にとっては仲間を思いやるなど心身ともに健全でたくましい成長にもつながります。また、スポーツを通して人と人がつながることで、地域の活力の醸成にもつながります。スポーツに親しむ環境を活用し、一人ひとりのライフスタイルに応じた運動やスポーツが地域のあらゆるところで見られています。

『市民との協働による安心安全なまちづくりができていること』

(掲げた理由)

異常気象による災害は私たちの生活を脅かしている中で、「自分の身は自分で守る」、「地域ぐるみでの防災」への取り組みと、支援体制が必要です。また、犯罪や交通事故のない安心安全なまちづくりに全ての人が協働し、安心したまちの中で暮らしが営われています。

『市民が安心して暮らせる環境ができていること』

(掲げた理由)

景観に配慮したまちなみ、機能的な道路、移動に必要な公共交通、上下水道、情報基盤などのライフラインは、日々の暮らしには欠かせない生活基盤です。これらの生活基盤が整い、また、その利便性が向上している環境は、誰もが感じる安心して暮らせるまちになっています。

理念：環境『自然とともに創るまち』

天草の豊かな自然環境を教育や産業など様々な分野に取り入れ、ひとと自然がつながる仕組みにより、自然を愛し、自然に寄り添うまちを目指します。

『脱炭素社会が実現し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われていること』

(掲げた理由)

地球温暖化防止に向けた具体的な対策が求められています。また、天草の豊かな自然を地域の財産とし後世に引き継いでいかなければなりません。自然環境を意識した一人ひとりの保全活動や再生可能エネルギーの導入による温室効果ガス抑制など、さまざまな取り組みがつながり、脱炭素社会の実現、また、人と自然が共生したまちづくりが行われています。

『資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われていること』

(掲げた理由)

排出されるゴミは適切に処理されることで資源としてさらに活用されることで自然への負荷が軽減されます。また、快適な生活環境は一人ひとりの取り組みによってつくられていきます。資源の循環と快適な生活環境づくり。自然にやさしい、自然とともに創るまちづくりが進められています。

『ひとと自然がつながる仕組みができていること』

(掲げた理由)

天草には風光明媚な景観や豊かな生態系など魅力ある自然資源があります。自然資源を知り、学ぶことで天草の自然を認識し、その自然を誇りに思うことにつながります。そのための学びの場、情報発信の場、交流の場が整えられ、人と自然がつながることで更なる魅力向上につながっています。

市民の視点に立ち、行政職員一人ひとりが最大の能力を発揮し、部署を越えて柔軟に連携し、総合力で課題解決に取り組む組織運営、安定した財源の確保と限られた財源の中での有効かつ確な投資による健全な財政運営、行政システムの効率的かつ効果的な運用などに取り組む、未来へつながる行政経営を目指します。

『あらゆる社会変化に対応した行政運営ができていること』

(掲げた理由)

刻々と変化する社会情勢や多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民一人ひとりが幸せを実感しながら生き生きと暮らす生活を営むことができる行政運営が求められます。行政は、総合力を持って市民サービスの向上と安定した財政運営に取り組みながら、市民とともにつながり、2030年の将来像の実現に向けたまちをつくり上げています。

『市有財産が効率的かつ効果的に活用されていること』

(掲げた理由)

本市が所有する多くの公共施設は老朽化が進み、今後、大規模改修や建て替えが必要となってきます。計画的な改修を進めていくほか、利用状況等を踏まえた施設の統合や廃止を行い、施設の効率的かつ効果的に活用が行われています。